

プログラム

4月11日（金） 研究班集体会

ポンペ会館会議室

13:00-16:00 第40回ダニ類研究班集体会

話題提供「南西日本におけるマダニ媒介感染症の概況と制御基盤の研究」

Ac01 長崎県におけるダニ媒介感染症の発生動向

吉川 亮（長崎県環境保健研究センター）

Ac02 マダニーマウスモデルを使ったダニ媒介性感染症の人口感染実験系の確立

高野 愛（山口大学共同獣医学部）

Ac03 九州に見るマダニ刺症について

安西三郎（大分県竹田市 安西皮膚科）

良順会館専齋ホール1（B会場）

13:20 - 16:00 殺虫剤研究班

シンポジウム「ヌカカの生態・被害・防除」

13:30 **Pe01** ヌカカの生態とヌカカが媒介する家畜の疾病

梁瀬 徹（農業・食品産業技術総合研究機構）

13:50 **Pe02** ヌカカが媒介するヒト病原性ウイルスの概説と本邦におけるオロプーシェ熱流行可能性の考察

小林 大介（国立感染症研究所）

14:20 **Pe03** 不快害虫用殺虫剤および忌避剤の法規制

千保 聡（生活害虫防除剤協議会/日本防疫殺虫剤協会）

14:45 **Pe04** トクナガクロヌカカに対する家庭用殺虫剤の防除効果検証

三石 帆波（大日本除虫菊）

15:15 **Pe05** 自治体によるヌカカ被害に対する取組み

宮脇 孝志（米子市環境政策課）

ポンペ会館セミナー室

13:30 - 16:00 病害動物の生理分子生物談話会

Ph01 マダニ唾液に見る新規免疫制御分子：創薬に向けた機能解析と組換えタンパク質精製

八田岳士（北里大学・医学部・寄生虫・熱帯医学）

Ph02 カイコバイオリソースを使ったワクチン抗原の生産

日下部宜宏（九州大学 大学院農学研究院）

4月12日（土）

4月12日（土） A会場（良順会館ボードインホール）

9:00-11:15 大会シンポジウム「衛生動物学のあたらしい潮流」

9:00 S01 ヤブカにおける共生細菌ボルバキアによるアルボウイルスの制御

○大手 学^{1,2} (¹東京慈恵会医科大学・熱帯医学講座, ²東京慈恵会医科大学・衛生動物学研究センター)

9:25 S02 マダニ媒介ウイルス研究の最前線ー本邦における新興ウイルスの発見と公衆衛生への脅威ー

○小林大介 (国立感染症研究所・昆虫医科学部)

9:50 S03 ケニアインド洋沿岸地域におけるスナノミ誘引因子の探索

○日向綾子^{1,a} (¹International Centre of Insect Physiology and Ecology, Kenya、^a現所属: 日本大学)

10:15 (休憩)

10:25 S04 新規殺虫剤テネベナール®（一般名：プロフラニリド）のご紹介

○藤野 裕（三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社）

10:50 S05 蚊降着阻害技術を活用した蚊忌避剤Biore GUARD Mos Block Serumの開発

○竹内浩平¹ 飯倉寛晃² ヴィーデマンビアンカモニカ³ 難波綾³ 風間北斗⁴ 仲川喬雄³ (¹花王株式会社 感覚科学研究所, ²花王株式会社 化粧品研究所, ³花王株式会社 ヒューマンヘルスケア研究所, ⁴国立研究開発法人理化学研究所 脳神経科学研究センター)

11:25 - 12:15 総会

13:20 - 14:30 授賞式・受賞講演

13:30 P01 佐々賞受賞講演

ハブクラゲの環境DNAを検出するためのリアルタイムPCRアッセイ

○安座間 安仙¹、岡 慎一郎²、照屋 盛実¹、戸篠 祥³、谷本 都²、花原 望²、久場 由真仁¹、宮城 綾乃¹、福地 斉志⁴ (¹沖縄衛研、²沖縄美ら島財団、³黒潮生物研、⁴沖縄県)

13:50 P02 日本衛生動物学会賞受賞講演

衛生害虫の殺虫剤抵抗性機構に関する研究

○葛西真治 (国立感染症研究所昆虫医科学部)

4月12日（土） A会場（良順会館ボードインホール）

14:40 - 18:02 一般講演

- 14:40 **A01** 石川県および愛媛県におけるマダニ関連RNAウイルスの探索
 ○アシトリヌーフアイザー¹, 小林大介¹, 松村凌^{1,2}, 鋤田龍星³, 木村俊也⁴, 犬丸瑞枝¹, 渡辺護¹, 比嘉由紀子¹, 澤邊京子¹, 葛西真治¹, 伊澤晴彦¹ (¹感染研・昆虫医科学, ²明治大院・農・応用昆虫, ³岡山理科大学・獣医学部, ⁴愛媛県・保健福祉)
- 14:52 **A02** 宮古島におけるマダニ相調査
 ○犬丸瑞枝¹, 末澤遼平², 下地秀作², 比嘉由紀子¹ (¹感染研・昆虫医科学, ²宮古家保)
- 15:04 **A03** 福岡県におけるマダニからのウイルスの網羅的探索および野生動物のJingmen tick virus保有調査
 ○小林孝行^{1,2}, 吉富秀亮¹, 金藤有里¹, 古谷貴志¹, 芦塚由紀¹, 濱崎光宏¹, 田中義人¹, 白石博昭¹, 藤田龍介² (¹福岡県保健環境研究所, ²九州大学大学院・農学研究院)
- 15:16 **A04** 栃木県南部（足利市・佐野市）におけるイノシシとシカへの寄生マダニ種及び旗ずり調査（2021/2022）
 ○島田瑞穂^{1,2}, 土井寛大³, 山内健生⁴, 川端寛樹⁵, 安藤秀二⁵, 島野智之⁶ (¹自治医科大学, ²足利赤十字病院, ³国立森林総合研究所, ⁴帯広畜産大学, ⁵国立感染症研究所, ⁶法政大学)
- 15:28 **A05** 浅間山系の高標高帯における北方系マダニ相の変容，温暖化の影響か？
 ○高田伸弘^{1, 3}, 夏秋 優² (¹福井大学医学部, ²兵庫医科大学, ³医学野外研究支援会)
- 15:40 **A06** 愛玩動物におけるダニ媒介性ウイルス感染症罹患リスクの評価－愛媛県のマダニ相－
 木村俊也¹, 鋤田龍星², 武石真音², 南 博文³, 犬丸瑞枝⁴, 中尾勝洋⁵, 駒形 修⁴, 砂原俊彦⁶, 比嘉由紀子⁴, 伊澤晴彦⁴, 澤邊京子^{4,7} (¹愛媛県・保健福祉, ²岡山理大・獣医, ³南動物病院, ⁴国立感染研・昆虫医科学, ⁵森林総研・関西, ⁶長崎大・熱研, ⁷東京大院・応用免疫)
- 15:52 **A07** 動物におけるOzウイルス感染状況
 ○松鶴 彩^{1,2}, 立本完吾¹, 石嶋慧多¹, 西野綾乃¹, 井上雄介¹, 朴ウンシル¹, 玉谷宏夫³, 瀬戸順次⁴, 東 英生⁵, 福井祐一⁶, 野馬隆志⁷, 土井寛大⁸, 中下留美子⁸, 伊澤晴彦¹, 葛西真治¹, 前田健¹ (¹感染研, ²日本大学, ³ピッキオ, ⁴山形衛研, ⁵ワイルドライフ・ワークショップ, ⁶こまち動物病院, ⁷くぼた動物病院, ⁸森林総研)
- 16:04 **A08** 茨城県内のイノシシにおけるオズウイルスの伝播について
 ○大澤修一^{1,2}, 阿部櫻子¹, 永田紀子¹, 内田好明¹, 上野絵里¹, 松鶴彩³, 福士秀悦⁴, 前田健⁴, 海老原秀喜⁴, 古谷哲也² (¹茨城衛研, ²東京農工大学, ³日本大学, ⁴国立感染症研究所)
- 16:16 (休憩)
- 16:26 **A09** 本邦産オオトゲチマダニから分離された新規マダニ媒介性コルチウイルスの性状解析

○松村凌^{1,2}、網干有紗ローズ^{1,3}、犬丸瑞枝²、Astri Nur Faizah²、佐々木年則²、上村望²、山内健生⁴、木村俊也⁵、鋤田龍星⁶、小林大介²、糸山享¹、伊澤晴彦² (¹明治大院・農、²感染研・昆虫医学、³明治大・農、⁴帯畜大、⁵愛媛県保健福祉部、⁶岡山理科大)

16:38 **A10** 長崎県で感染し、兵庫県で発症した日本紅斑熱

○夏秋 優¹、高田伸弘²、吉岡友梨香¹、林 秀樹¹、金澤伸雄¹ (¹兵庫医大皮膚科学、²福井医療大)

16:50 **A11** マダニ新防除方法を志向したタンパク質間の計算科学的結合構造解析

○川田 逸人^{1,2}、小池 優貴²、佐々木 紗己²、井上 貴裕²、國貞 葉菜子²、神保 恵²、水谷 恵子²、三上 房子¹、辻 尚利^{1,2}、八田 岳士^{1,2} (¹北里大学 医療系 国際寄生虫病、²北里大学 医 寄・熱)

17:02 **A12** フタトゲチマダニ唾液腺由来HLCBP1の分子系統解析によるケモカイン結合能の推定

○佐々木 紗己¹、川田 逸人^{1,2}、小池 優貴¹、井上 貴裕¹、國貞 葉菜子¹、神保 恵¹、水谷 恵子¹、三上 房子²、辻 尚利^{1,2}、八田 岳士^{1,2} (¹北里大学 医療系 国際寄生虫病、²北里大学 医 寄・熱)

17:14 **A13** 吸血性マダニによるブラッドプール形成～マクロファージによる血小板貪食の意義～

○小池 優貴¹、川田 逸人^{1,2}、佐々木 紗己¹、井上 貴裕¹、國貞 葉菜子¹、神保 恵¹、水谷 恵子¹、三上 房子²、辻 尚利^{1,2}、八田 岳士^{1,2} (¹北里大学 医療系 国際寄生虫病、²北里大学 医 寄・熱)

17:26 **A14** Prevalence and Serotype Identification of *Orientia tsutsugamushi* in Wild Rodents in Yamaguchi Prefecture

Abdelrahman Ahmed^{1,2}, Supriyono³, Kazuki Kiuno^{1,4}, Nozomi Kurihara⁵, Shohei Minami⁶, Kenzo Yonemitsu⁷, Ryusei Kuwata⁸, Hiroshi Shimoda^{1,4}, Tsubasa Narita⁹, ○ Alice C.C. Lau², Ai Takano^{1,2}, Ken Maeda^{1,10} (¹Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Yamaguchi Univ., ²Laboratory of Epidemiology, Department of Veterinary Medicine, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Yamaguchi Univ., ³School of Veterinary Medicine and Biomedical Sciences, IPB Univ., ⁴Laboratory of Veterinary Microbiology, Department of Veterinary Medicine, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Yamaguchi Univ., ⁵School of Agriculture, Utsunomiya Univ., ⁶Department of Virology, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka Univ., ⁷Research Center for Biosafety, Laboratory Animal and Pathogen Bank, NIID, ⁸Faculty of Veterinary Medicine, Okayama University of Science, ⁹Miyazaki Prefectural Institute for Public Health and Environment, ¹⁰Department of Veterinary Science, NIID)

17:38 **A15** ウミヘビツツガムシがエラブウミヘビの肺に浸入する方法と肺から出るタイミング

○高橋 守¹、三角 仁子¹、森口 一²、鳥羽 通久² (¹埼玉医科大学、²日本蛇族学術研究所)

17:50 **A16** ワクモの吸血行動の変化を及ぼすヒノキ含有成分の探索

○井上 貴裕^{1,2}、國貞 葉菜子^{1,2}、水谷 恵子²、甲斐 久博³、宇都 拓洋⁴、吉田 知生²、稲垣 歩⁵、上野 崇寿⁵、小田 憲司²、川田 逸人²、辻 尚利²、古川 隼士²、八田 岳士² (¹北里大学院、²生物科学安全研究所、³九州医療科学大、⁴長崎国際大、⁵大分工専)

4月12日（土） B会場（良順会館専斎ホール1）

14:40 - 18:02 一般講演

- 14:40 **B01** 吸血したヒトスジシマカ雌の遺伝子発現に交尾が与える影響
○向井梨恵¹, Parinya Wilai¹, 江頭早紀¹, 入江圭一¹, 坂本大輔¹, 鹿志毛信広¹, 二見恭子², 砂原俊彦², 佐藤朝光¹ (¹福岡大学薬学部, ²長崎大学熱帯医学研究所)
- 14:52 **B02** *Aedes aegypti* 電位感受性Na⁺チャンネル分子発現細胞構築の試み
○鈴木高史¹, 溝越 祐志¹, 川田 均² (¹神戸常盤大学, ²長崎大学・熱研)
- 15:04 **B03** ネットアイシマカは血液凝固因子フィブリノペプチドAを感知して吸血を停止する
○佐久間知佐子¹, 小幡史明^{1,2}, 嘉糠洋陸³ (¹理研, ²京大・院生命, ³慈恵医大)
- 15:16 **B04** ヒトスジシマカ、ネットアイエカおよびアカイエカにおけるジカウイルス感受性評価
○佐々木年則¹, 小林大介¹, 斎藤一三¹, 林 昌宏², 高崎智彦², *, 二見恭子³, 皆川 昇³, 澤邊京子^{1,4}, 伊澤晴彦¹ (¹国立感染症研究所昆虫医科学部, ²国立感染症研究所ウイルス第1部, ³長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野, ⁴東京大学大学院農学生命科学研究科, *株式会社ビー・エム・エル)
- 15:28 **B05** 北海道積丹半島周辺地域で採集したトウゴウヤブカの犬糸状虫媒介性の比較解析
○倉本樹¹, 片山菜月¹, 梶田さくら¹, 黒川育望¹, 福本晋也¹ (¹帯広畜産大学・原虫研)
- 15:40 **B06** 九州北部におけるアカイエカ群の種構成
○二見恭子¹, 葛西真治² (¹長崎大学・熱研, ²国立感染症研究所)
- 15:52 **B07** ミクロネシアの小島嶼での蚊幼虫生息調査について
○大塚靖¹, 山本宗立¹, 川西基博², 谷口光代³ (¹鹿児島大学・国際島嶼教育研究センター, ²鹿児島大学・教育学部, ³宮崎大学・医学部)
- 16:04 **B08** トルコ・エーゲ海地方のハマダラカの分子系統解析
○山田藍生¹, Suha Kenan Arserim², Metin Pekagirbas³, Kardelen Yetismis⁴, Seray Toz⁴, Yusuf Ozbel⁴, 糸川健太郎¹, 所司悠希⁵, 小林大介¹, 三條場千寿⁵, 葛西真治¹, 比嘉由紀子¹ (¹国立感染症研究所, ²Celal Bayar University, ³Aydin Adnan Menderes University, ⁴Ege University, ⁵東京大学)
- 16:16 (休憩)
- 16:26 **B09** ラクトースがハマダラカの生存率を低下させるメカニズムの解明
○水島大貴, 山本大介, 加藤大智 (自治医大 医動物学)
- 16:38 **B10** Evaluating Pyrethrum Spray Catch and CDC Light trap sampling techniques for mosquito surveillance: A comparative study of mosquito sampling methods.
○Muga Robert¹, Noboru Minakawa², Kyoko Futami², George O. Sonye³, Peter Lutiali⁴, Beatrice Awuor⁴ (¹TMGH, Nagasaki University, ²Nekken, Nagasaki University, ³Ability to solve by Knowledge (ASK), ⁴NUITM/KEMRI)

- 16:50 **B11** アフリカマラリア媒介蚊の幼虫繁殖水体の物理化学的特徴
 石田幸恵¹, ○都野展子¹ (¹ 金沢大学)
- 17:02 **B12** 2022年の北海道調査におけるシナハマダラカの確認
 前川芳秀¹、楊超¹、澤邊京子^{1,2}、○比嘉由紀子¹ (¹感染研、²東京大学)
- 17:14 **B13** 水田におけるハイイロゲンゴロウ幼虫の季節消長と食性、およびボウフラ捕食者としての役割

 ○福岡太一¹、田邑龍²、岸本圭子³、大庭伸也⁴ (¹長崎大学大学院総合生産科学研究科、²龍谷大学
大学院理工学研究科、³龍谷大学先端理工学部、⁴長崎大学人文社会科学域（教育学系）生物学
教室)
- 17:26 **B14** 6種の蚊幼虫の行動に対する”メダカ水”の影響
 ○大庭伸也^{1,2}、野稻充¹、大浦ひなた² (¹長崎大学教育学部、²長崎大学大学院総合生産科学研究
科)
- 17:38 **B15** 力学的制約が蚊の逃避行動に及ぼす影響－蚊叩きロボットによる性能評価
 ○小枝大桃、島川星也、加藤優貴、劉浩、中田敏是(千葉大学)
- 17:50 **B16** パキスタン、カイバル・パフトゥンクワ州モハンマンド地区におけるリーシュマニア属の分子
 同定
 ○Shah Tariq Aziz¹, Naveeda Akhter Quresh², Nargis Shaheen², Khurshaid Khan³, 都野展子¹ (¹
金沢大学, ² Quaid-i-Azam University Islamabad, Pakistan, ³ Abdul Wali Khan University
Mardan, Pakistan)

懇親会 (ホテルセントポール)

18:30 - 20:30

4月13日（日） A会場（良順会館ボードインホール）

9:00 - 11:56 一般講演

- 9:00 **A17** 東京の公園の10,000個の雨水桝を2回見てまわってわかったこと
 ○砂原俊彦¹, 比嘉由紀子², 川田均¹ (¹長崎大学熱帯医学研究所, ²国立感染症研究所昆虫医科学部)
- 9:12 **A18** 長野県上田市の観測定点における2024年のヒトスジシマカ成虫の発生動態
 ○平林公男 (信州大学繊維学部)
- 9:24 **A19** 埼玉県所沢市における蚊の定点調査
 ○江尻寛子¹, 金山敦宏¹, 加來浩器¹ (¹防衛医科大学校・広域感染症疫学・制御研究部門)
- 9:36 **A20** 熊本大学黒髪キャンパスにおけるヒトスジシマカの生息密度と植生の分布構造の関係性に関する予察的調査
 ○米島万有子¹, 渡邊高志², 杉村康司², 鈴木重雄³, 新里亮人¹, 駒形 修⁴ (¹熊本大学・文、²熊本大学・薬、³駒澤大学・文、⁴国立感染症研究所)
- 9:48 **A21** マイクロサテライトマーカーを利用した個体群構造の解析によるヒトスジシマカ防除の評価

 ○菊池 寛¹, 山口 光¹, 荻野和正² (¹㈱サニックス、²産業医大・免疫学・寄生虫学)
- 10:00 (休憩)
- 10:10 **A22** A report of a three-year invasion survey on the exotic *Aedes albopictus* at Narita International Airport from 2021 to 2023
 ○ Chao Yang¹, Kentaro Itokawa¹, Takumi Ono², Kunihiro Saitou², Saki Osato², Shigeru Yamanouchi², Jun Niizuma², Tomoyuki Hashimoto³, Shinji Kasai¹, Yukiko Higa¹ (¹Dept. Med. Entomol., Natl. Inst. Infect. Dis. (NIID), ²Narita Airport Quarantine Station, ³Environmental Biology & Living Environment Department, Japan Environmental Sanitation Center)
- 10:22 **A23** 与那国島のヒトスジシマカは何故DDTに高感受性なのか？
 ○川田 均¹, 比嘉由紀子², 山田藍生², 楊 超² (¹長崎大学, ²国立感染症研究所)
- 10:34 **A24** 国内のヒトスジシマカのピレスロイド抵抗性遺伝子保有状況および抵抗性アレルの起源について
 ○糸川健太郎¹, 楊超¹, 山田藍生¹, 仲川幹映², 犬丸瑞枝¹, 上村望¹, 比嘉由紀子¹, 葛西真治¹, 駒形修¹ (¹国立感染症研究所・昆虫医科学部, ²明治大学大学院・農学研究科)
- 10:46 **A25** コンゴ民主共和国にて採集された殺虫剤抵抗性蚊の遺伝子発現
 ○佐藤 朝光¹, 向井 梨恵¹, Parinya Wilai¹, 江頭 早紀¹, 入江 圭一¹, 坂本 大輔¹, Vulu Zimbombe Fabien², 二見 恭子³, 皆川 昇³, 鹿志毛信広¹ (¹福岡大学、²キンシャサ大学、³長崎大学・熱研)

- 10:58 **A26 Predicting Dengue Cases and Risk Using Hybrid Deep Learning Models and Climate Data**
- Micheal Teron Pillay¹, Le Thi Quỳnh Mai², Yuki Takamatsu¹, Tran Vu Phong², Ratnam Jayanthi³ Noboru Minakawa¹ (¹ Nagasaki University, Institute of Tropical Medicine (NEKKEN)., ² National Institute of Hygiene and Epidemiology., ³ Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)
- 11:10 (休憩)
- 11:20 **A27 ケニア、マラリアハイリスク地域で環境因子が罹患率に与える影響**
- 山下 紗里菜¹、Michel T Pillay¹、Steohen Munga²、二見 恭子¹、皆川 昇¹ (¹長崎大学熱帯医学研究所、² Centre for Global Health Research, Kenya Medical Research Institute, Kisumu, Kenya)
- 11:32 **A28 我が国における節足動物媒介感染症のアウトブレイクに係るリスク評価と危機管理対応について**
- 関なおみ¹、小林望¹、葛西真治² (国立感染症研究所 ¹感染症危機管理研究センター、²昆虫医科学部)
- 11:44 **A29 愛媛県における蚊媒介性ゲタウイルスの流行動態**
- 鋤田龍星¹、木村俊也²、武石真音¹、久枝啓一¹、小野文子¹、井上有希²、大饗英章²、得居格²、金子俊朗²、山本達哉²、大澤恵美³、小野哲嗣⁴、北川均⁵、前田健⁶、伊澤晴彦⁶、根本学⁷、坂内天⁷ (¹岡山理大、²愛媛県、³野間馬保存会、⁴山口大、⁵岐阜大、⁶感染研、⁷JRA)

4月13日（日） B会場（良順会館専齋ホール1）

9:00 - 12:08 一般講演

- 9:00 **B17** **Is the long-lasting insecticide treated bed net incorporated with piperonyl butoxide more effective against *Anopheles arabiensis*?**
○永武摩梨¹、二見恭子¹、George Sonye²、皆川昇¹ (¹NEKKEN, Nagasaki Univ.,²ASK)
- 9:12 **B18** **ケニア西部での蚊帳の普及における課題**
○中尾涼太郎¹、麻生有希子¹、George O. Sonye²、Stephen Munga³、皆川昇⁴ (¹長崎大学・医学部、²Ability to solve by Knowledge (ASK)、³Centre for Global health Research, Kenya Medical Research Institute、⁴熱研・長崎大学)
- 9:24 **B19** **蚊帳が不足する家における優先使用者の実態調査**
麻生有希子¹、中尾涼太郎¹、George O. Sonye²、Stephen Munga³、○皆川昇⁴ (¹長崎大学・医学部、²Ability to solve by Knowledge (ASK)、³Centre for Global health Research, Kenya Medical Research Institute、⁴長崎大学・熱研)
- 9:36 **B20** **Effectiveness of long-lasting insecticidal ceiling nets incorporating piperonyl butoxide in reducing malaria parasite vectors in western Kenya: a cluster randomized controlled trial.**

○Noboru Minakawa¹, Yura K Ko², Wataru Kagaya¹, Bernard N Kanoi³, Jessy Gitaka⁴, George O. Sonye⁵, Stephen Munga⁶, Kyoko Futami¹, Akira Kaneko^{2,7} (¹NEKKEN, Nagasaki University, ²Department of Microbiology, Tumor and Cell Biology (MTC), Karolinska Institute, ³Mount Kenya University, ⁴Research and Innovation, Mount Kenya University, ⁵Ability to solve by Knowledge (ASK), ⁶Centre for Global health Research, Kenya Medical Research Institute, ⁷Osaka Metropolitan University)
- 9:48 **B21** **実使用環境でも持続効果に優れる人体用忌避剤の開発**
○芦川優¹、亀澤達也¹、児玉達治¹、高原啓也¹ (¹レック株式会社)
- 10:00 (休憩)
- 10:10 **B22** **屋外環境における感染症媒介蚊に対する蚊取線香の忌避効果検証**
○海部仁充、田丸友裕、猪口佳浩、引土知幸、下方宏文、神崎務、川尻由美、中山幸治（大日本除虫菊(株) 中央研究所）
- 10:22 **B23** **LED放射光が与える養鶏場内害虫の行動及び発生に対する影響について**
○荻野和正^{1,2}、西村圭一³、清水少一¹、浅田研一⁴ (¹産医大・免疫学・寄生虫学、²株三共消毒、³福岡工技センター・機電研、⁴(公)福岡県畜産協会)
- 10:34 **B24** **クロバエ類の室内飼育検討ならびにピレスロイド系動物用殺虫剤の基礎効力検証**
○九鬼奈紀、服部恭平、猪口佳浩、引土知幸、神崎務、川尻由美、中山幸治（大日本除虫菊(株) 中央研究所）
- 10:46 **B25** **畜舎発生イエバエの電位依存性ナトリウムチャネル及びアセチルコリンエステラーゼの全長配列解析**

○仲川幹映^{1,2}、糸川健太郎²、上村望²、富岡康浩³、谷川力³、澤田恵子²、糸山享¹、葛西真治²、
駒形修² (¹明治大学院、²国立感染症研究所、³イカリ消毒(株))

- 10:58 **B26** イエバエ実験室系統における殺虫剤標的遺伝子VGSCとAChEの遺伝的背景
仲川幹映¹、糸川健太郎²、糸山享¹、澤田恵子²、葛西真治²、○駒形修² (¹明治大学院・農、²感染研・
昆虫医)
- 11:10 (休憩)
- 11:20 **B27** UV-LED光源に追加した蓄光材がイエバエ誘虫効果に及ぼす影響
○木村悟朗¹、吉田和貴²、川田一力² (¹イカリ消毒株式会社、²FKK株式会社)
- 11:32 **B28** 福岡県の養鶏場における粘着トラップによるハエ捕集調査
○藤田龍介、上野弘人、田中宏明、紙谷聡志、大西浩翔(九州大学大学院・農学研究院)
- 11:44 **B29** HPAIV 媒介者と目される腐肉食性バエの鶏舎への飛来・侵入状況
○上野弘人、紙谷 聡志、田中宏明、大西 浩翔、藤田龍介(九州大学大学院・農学研究院)
- 11:56 **B30** 排泄能力と飛翔能力から見る腐肉食性ハエ類のウイルス伝搬能力の評価
○田中宏明、上野弘人、紙谷聡志、藤田龍介(九州大学大学院・農学研究院)

4月13日（日） C会場（ポンペ会館）

9:00 - 12:20 一般講演

- 9:00 **C01** トコジラミとネツタイトコジラミのガラス面上での行動性の相違
 ○橋本知幸¹、小松謙之²、井口智義³、皆川恵子¹、数間亨¹（¹日環センター、²シーアイシー、³東京都健安研）
- 9:12 **C02** 幼虫期におけるネツタイトコジラミとトコジラミの形態の違い
 ○味口 裕仁¹、伊藤 洸¹、小松 謙之¹（¹株式会社シー・アイ・シー）
- 9:24 **C03** 大阪府内で採取されたトコジラミの分子系統解析：地域および国際的視点から
 ○佐々木麻綾¹（¹地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所）
- 9:36 **C04** 宿泊施設ならびに公共交通機関におけるトコジラミ（*Cimex lectularius*）に対するプロフラニ
 リド製剤の実地効力評価
 ○大井祐之介¹、倉島勇氣¹、原田恵理¹、阿部練¹、松原晶¹（¹アース製薬株式会社）
- 9:48 **C05** 国内のトコジラミにおけるピレスロイド抵抗性遺伝子保有状況（第1報）
 ○井口智義¹、矢口昇²、橋本知幸³、数間亨³、皆川恵子³、木村悟朗⁴、佐々木健⁴、足立雅也⁵、
 山口綾太¹、川寄大志¹、木下輝昭¹、猪又明子¹（¹東京都健康安全研究センター、²豊島区池袋保健
 所、³日本環境衛生センター、⁴東京都ペストコントロール協会、⁵日本防疫殺虫剤協会）
- 10:00 （休憩）
- 10:10 **C06** 新島のゴキブリ相
 ○小松謙之¹、森 義行¹、木村悟朗¹、佐々木 健¹（¹（公社）東京都ペストコントロール協会）
- 10:22 **C07** 本邦産ワモンゴキブリ11系統に対する各種殺虫剤の感受性試験
 ○小松謙之^{1,2}（¹（株）シー・アイ・シー、²（公社）東京都ペストコントロール協会）
- 10:34 **C08** 現場条件下のチャバネゴキブリに対する殺虫効果
 ○伊藤 洸¹、味口 裕仁¹、小松 謙之¹（¹株式会社シー・アイ・シー）
- 10:46 **C09** 北海道十勝地方におけるニッポンシロフアブの集団遺伝構造
 ○Maria Angenica F. Regilme¹、Keisuke Suganuma¹、Yuma Ohari²、Noboru Inoue¹、Shin-ichiro
 Kawazu¹（¹ National Research Center for Protozoan Diseases, Obihiro University of Agriculture
 and Veterinary Medicine. ²International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University）
- 10:58 **C10** 北海道十勝地方の畜産農家における吸血性アブ類の季節消長
 ○菅沼啓輔^{1,2}、奥野雄太³、茅野光範²、山内健生³、井上昇¹、Acosta Tomas³（¹畜大・原虫研 ²畜大・
 グローバルアグロメディシン研 ³畜大・畜産学部）
- 11:10 （休憩）

- 11:20

C11

乾燥条件を予め経験したヒラタチャタテが示す多様な物理的、化学的ストレスに対する耐性増強
○田中康次郎、早川洋一(株式会社　フジ環境サービス)
- 11:32

C12

アシマダラブユ幼虫の腸内寄生糸状菌の多様性について
○佐藤大樹¹(¹森林総研・昆虫)
- 11:44

C13

千葉県の都市林におけるマツムラトリシラミバエの季節消長、原虫保有状況および吸血生態の推定
○菅澤颯人¹，尾崎煙雄²，関まどか¹，佐藤雪太¹（¹岩手大学大学院・獣医学研究科・獣医寄生虫，²千葉県立中央博物館）
- 11:56

C14

奈良県のアルゼンチンアリ生息地に囲まれた特定エリアにおけるハイドロジェルベイト剤による防除
○富岡康浩¹、菅田裕希¹、高橋雄太¹、木村悟朗¹、山原美奈²、砂村栄力³、寺山守⁴（¹イカリ消毒株式会社、²奈良県環境森林部、³森林総合研究所、⁴東京都立大学大学院理学研究科）
- 12:08

C15

下水管内でのドブネズミの行動
○谷川　力^{1 2}、鈴木正二³、清川泰志⁴（¹東京都ペストコントロール協会、²イカリ消毒株式会社、³管清工業株式会社、⁴東京大学）

4月13日（日）　A会場（良順会館ボードインホール）
14:30 - 16:30 市民公開講座「人の健康をおびやかす動物たち」

- 14:40

L01

虫による皮膚病
○夏秋　優（兵庫医科大学皮膚科学）
- 15:15

L02

マダニが媒介する病気　－長崎県の状況－
○吉川亮¹、井原基²、中峯文香¹、大串ひかる¹、高木由美香¹（¹長崎県環境保健研究センター、²長大・熱研）
- 15:50

L03

人と野生哺乳類との最近のかかわり
○佐々木　浩（筑紫女学園大学）

4月13日（日）　（会場調整中）
17:30 - 19:00 サテライト集会「衛生動物学の周辺のお役立ち情報」

- N01

遺伝子資源と生物サンプルの扱いについて
○風間　真（長崎大学）
- N02

超高精度GPSについて
○砂原俊彦（長崎大学）